

幌延深地層研究計画 札幌報告会 2018 質疑応答の概要

●「温室効果のメカニズムと気候影響」に関する質問

質問) 先ほど寒い話(冬季の日本の寒冷化; 特別講演資料 P44~48、52~53 参照)があったが、今年の夏が例年より暑いのはブロッキング現象的には逆と考えてよいか?

回答) 一つは、海上・海面気温が上昇し水蒸気が発生することにより、台風が発生しやすくなっている。しかも台風がなかなか弱まらない。それは日本の九州地域から全部、平均気温・水温が上がっているため、変化してきている。

いずれにせよ、偏西風やジェット気流の波動が変化し、南北の気温差が変わることによって、蛇行の波動や波形が変化する。波形が変わると、北から入るところは寒くなり、南から入るところは暑くなる。波形が変わることによって今までの気候条件が変わる。

●「幌延深地層研究計画の現状について」に関する質問

特になし

以 上